

理系大学生の教育価値観と就業動機との関連 —日本とフィンランドの比較—

山中 弘子

学位取得年月：平成22年3月

取得学位名：人文科学修士

学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】教育価値観、就業動機、キャリア意識、達成動機

【要旨】

日本とフィンランドの理系大学生を対象に、教育価値観、就業動機、実務志向を把握し、その関連を明らかにすることを目的に質問紙調査を実施した。その結果、日本人学生は大学での知識等の獲得意欲が薄いこと、教育に対する受身の期待と職業獲得に関係が認められたことから、教育と、就業・実務がつながっておらず「分断」している現状が確認された。しかしフィンランド人学生は、大学で知識等を獲得する意欲が高く、教育での自律性と就業での達成意欲との関係が認められたことから、教育と就業、実務はつながっており、大学で得た知識が実務で役立っている現状が確認された。以上のように、教育と就業における両国の特徴が明確になった。

(やまなか ひろこ)

言語少数派の子どもを対象とした母語による教科 学習支援の実態 —子どもの母語による読み書きに注目して—

劉 雲霞

学位取得年月：平成22年3月

取得学位名：人文科学修士

学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】言語少数派の子ども、教科学習、母語による学習、読み書き

【要旨】

本研究は、言語少数派の子ども（1名）を対象に、「教科・母語・日本語相互育成学習モデル」に基づく教科学習支援における、「母語による先行学習」場面の読み書き活動の実態を探った。

その結果、子どもが支援者と関わりながら、①文章の基本情報の把握、②人物に対する感想の表出、③作者の論点への認識、④複文構成及び文の表現の吟味、⑤関連内容の日中比較、という多様な読む活動に参加できたことが分かった。さらに、子どもが実際にペンを動かして課題に解答することで、「書き抜き」、「書きまとめ」「書き広げ」などのような「第三の書く」技能を活発に組み合わせて運用でき、学年相応の教材文の理解を深めることができたことがわかった。

(りゅう うんか)